

資料3-1 略地図中心のノート作りの一例

中国・四国地方（自然のあらまし）

鳥取
・傾斜地でなしの栽培（日本一の産地）
・平野部での稲作

砂丘の開発
→野菜栽培

中国山地周辺部
・斜面で牛の放牧
・激しい人口減少と過疎化

岡山平野
・児島湾の干拓
・ぶどう、もも

讃岐平野
・ため池灌漑
・香川用水による灌漑

高知平野
・野菜の促成栽培
・米の二期作

段々畑
・日本一のみかん生産

中国・四国地方

中国地方には、なだらかで高原のひろい中国山地が、四国地方には、けわしい四国山地が東西につらなり、その間に波静かで島の多い瀬戸内海がある。瀬戸内海は漁業のほか、船の交通がさかんで沿岸には工業都市が多い。本州と四国を結ぶ橋が建設中である。おもな交通路からはずれた日本海側（山陰）や南四国は工場も人口も少ない。

〈特色1〉 瀬戸内海に面してそれぞれ特色のある工業都市が飛び石のように連なって形づくられている。
教P 203

〈特色2〉 古くは綿織物や木造船が作られていたが今は重化学工業が発達し石油化学、化学繊維、鉄鋼業がさかぬ。
教P 203

・瀬戸内工業地域にはどのような特色がみられるか

〈そのなやみ〉 近年ビニールハウスは全国に普及し、産地間の競争がはげしい
教P 210

・南四国の農家は、どのような野菜栽培を行っているか

〈どのように〉 夏の野菜をビニールハウスで冬につくる野菜の促成栽培
教P 210

・人々は砂丘をどのように開発してきたか

〈今では……〉 砂丘の畑で野菜、なし、らっきょうなどを栽培している。また観光客も多い。
教P 211 地P 71

①	中国山地
②	讃岐山地
③	四国山地
④	鳥取平野
⑤	米子平野
⑥	出雲平野
⑦	石見高原
⑧	広島平野

⑨	福山平野
⑩	岡山平野
⑪	讃岐平野
⑫	新居浜平野
⑬	今治平野
⑭	松山平野
⑮	高知平野
⑯	徳島平野

A	津山盆地
B	三次盆地
C	秋吉台

(左ページ)

(右ページ)

で、昼食後や放課後などを利用して指導にあたった。

(c) 略地図作りがぬり絵的にならないように、地理的事象を頭に浮かべ「なぜ、そこにあるのか」、「地域と地域とのかかり合いがどのようになっているのか」を十分に考えさせて資料を処理し、表現していくように指導した。

(d) このようにして年間を通して指導していく中で、各地域（日本全図から北海道まで）ごとに学習のまとめとしてトレーシングペーパーを使用した読図・作図の指導を行った。

その際に、次の点に留意して指導にあたった。

- 地図帳をもとに地図の輪郭をトレースし、今までのノート作りの成果をトレーシングペーパーの中に表現する。
- 作成は地域ごとに一枚目を自然、二枚目を農林、水産、鉱工業に関する事象とする。グループの協力学習により一人一人作成する。
- 着色は裏から塗り、表に文字や記号などが鮮明に書けるように工夫した。
- 各地域ごとに出来ばえの良い作品ともうひと工夫を要する作品とを批評し合い、次の地域でさらに良い作品が作成されるように奨励し、どの生徒にも向上していくように配慮した。
- 最後の「北海道」が修了してから日本全図から北海道までの作品を冊子にして展示会を開いた。

◎ 読図・作図を意図した指導時案
生徒に略地図中心のノート作りを指